

WebX 2025

キービジュアルコンセプト

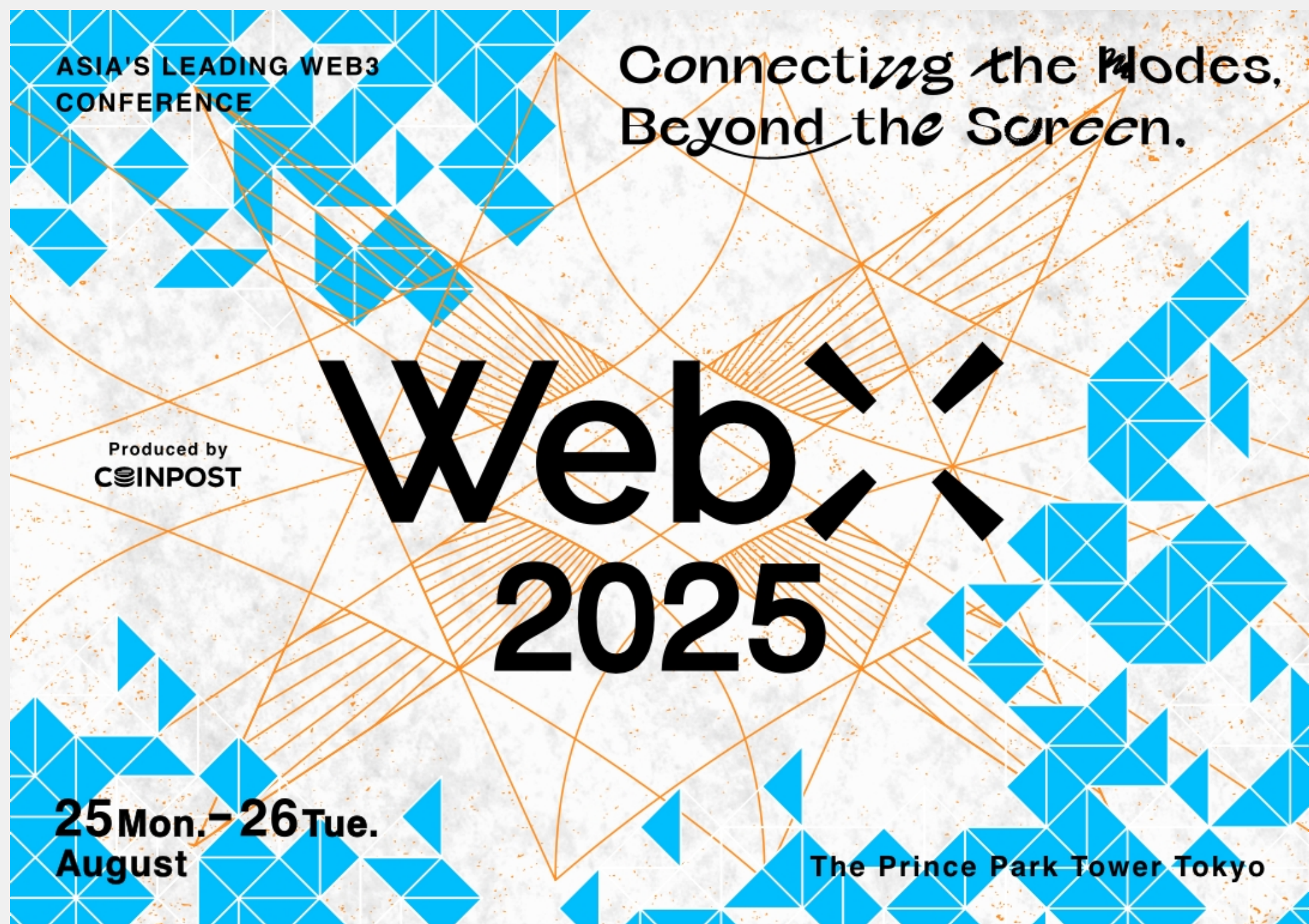
COINPOST 御中



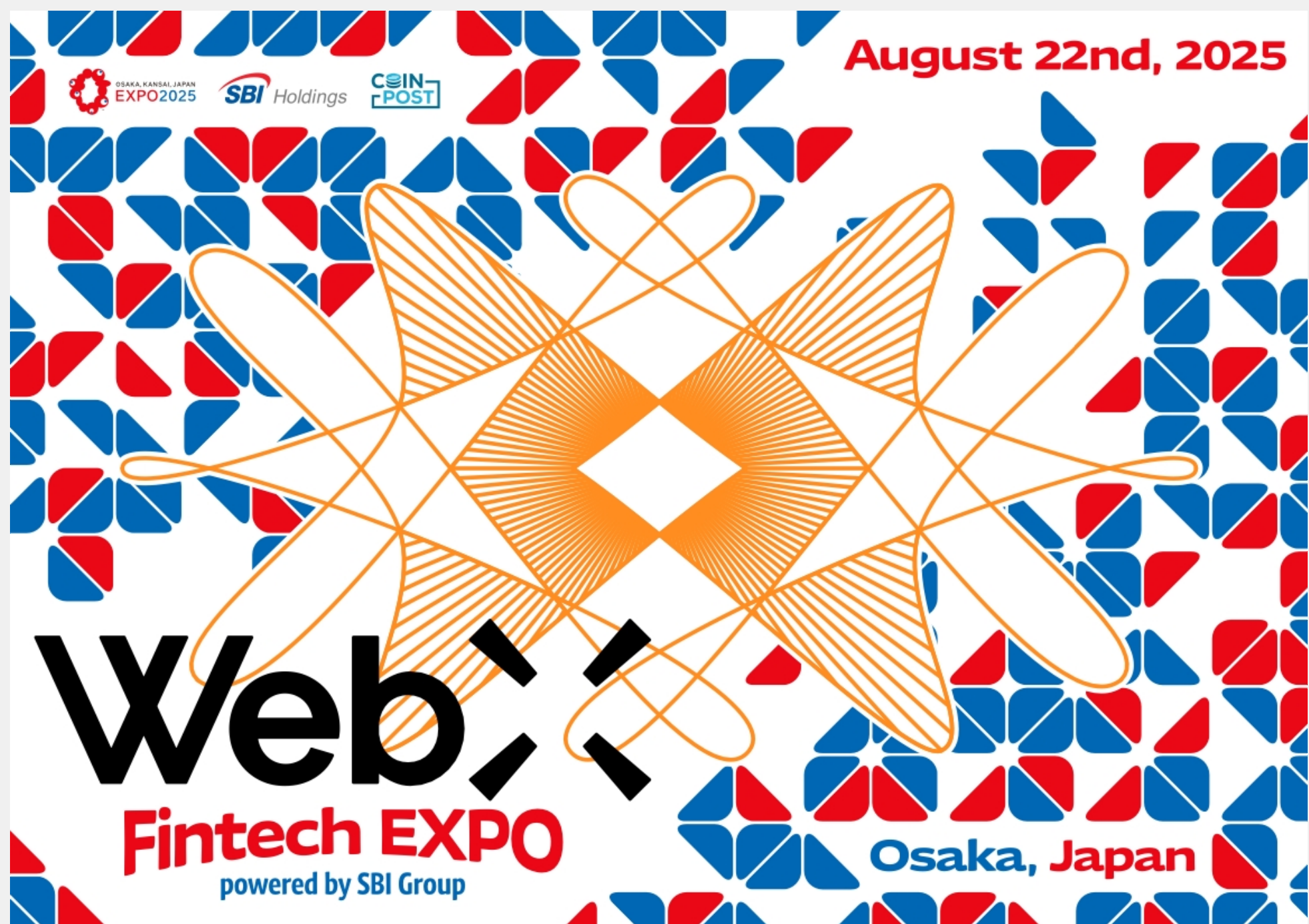
**CORRE
LATE
DESIGN**

2025.4.7

キービジュアル最終決定案

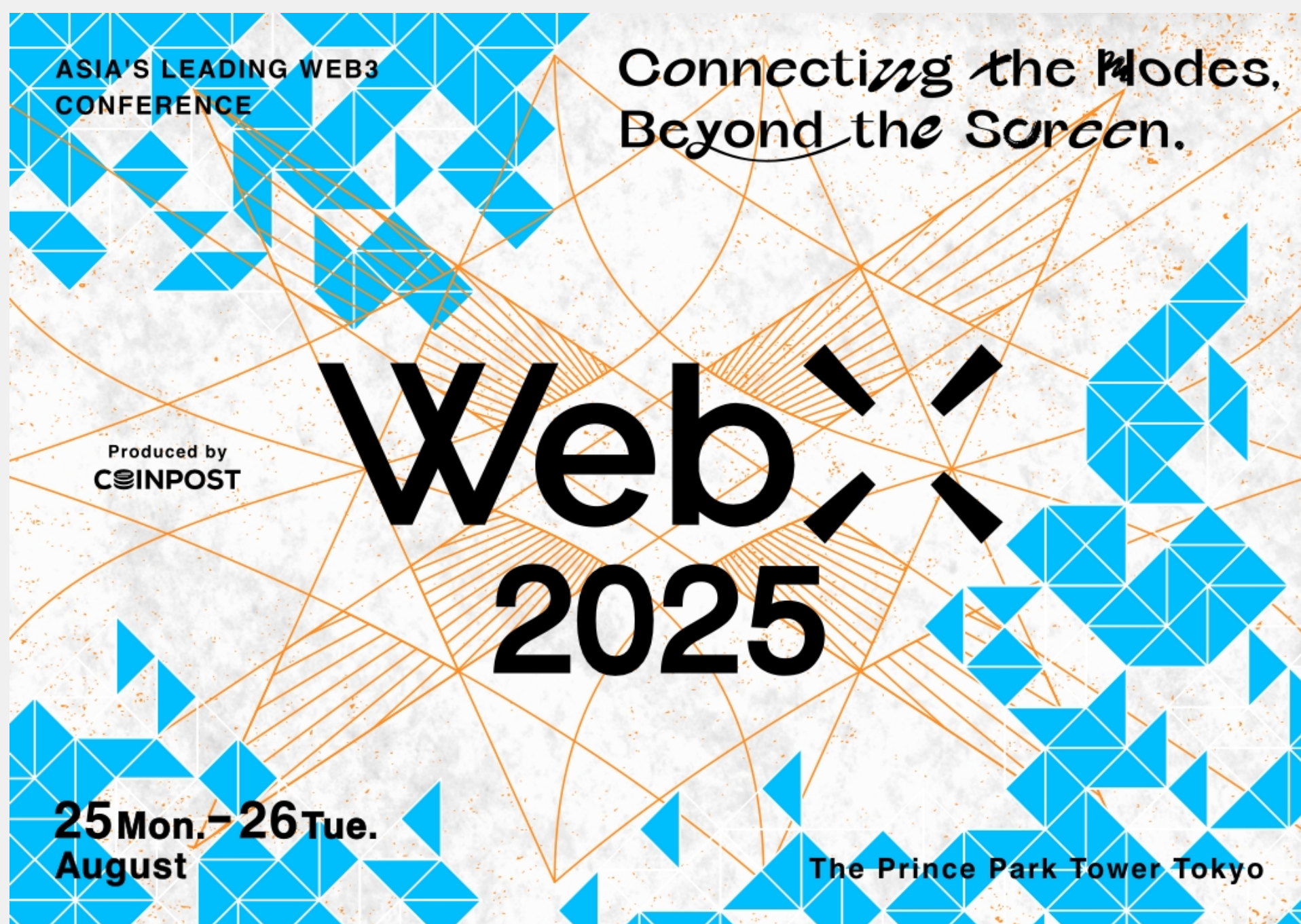


01 | WebX 2025 - Tokyo



02 | WebX 2025 - Osaka

キービジュアル 01 | WebX 2025 - Tokyo



アナログとデジタルが交差し、
新たな構造が立ち上がる瞬間を描いたキービジュアル
一方的な革新ではなく、
価値を掛け合わせながら未来を編んでいく——
そんなWebXの意志を、このビジュアルに込めました

デザインモチーフとして採用しているのは、
日本をはじめ世界各地で親しまれてきた「あやとり」。

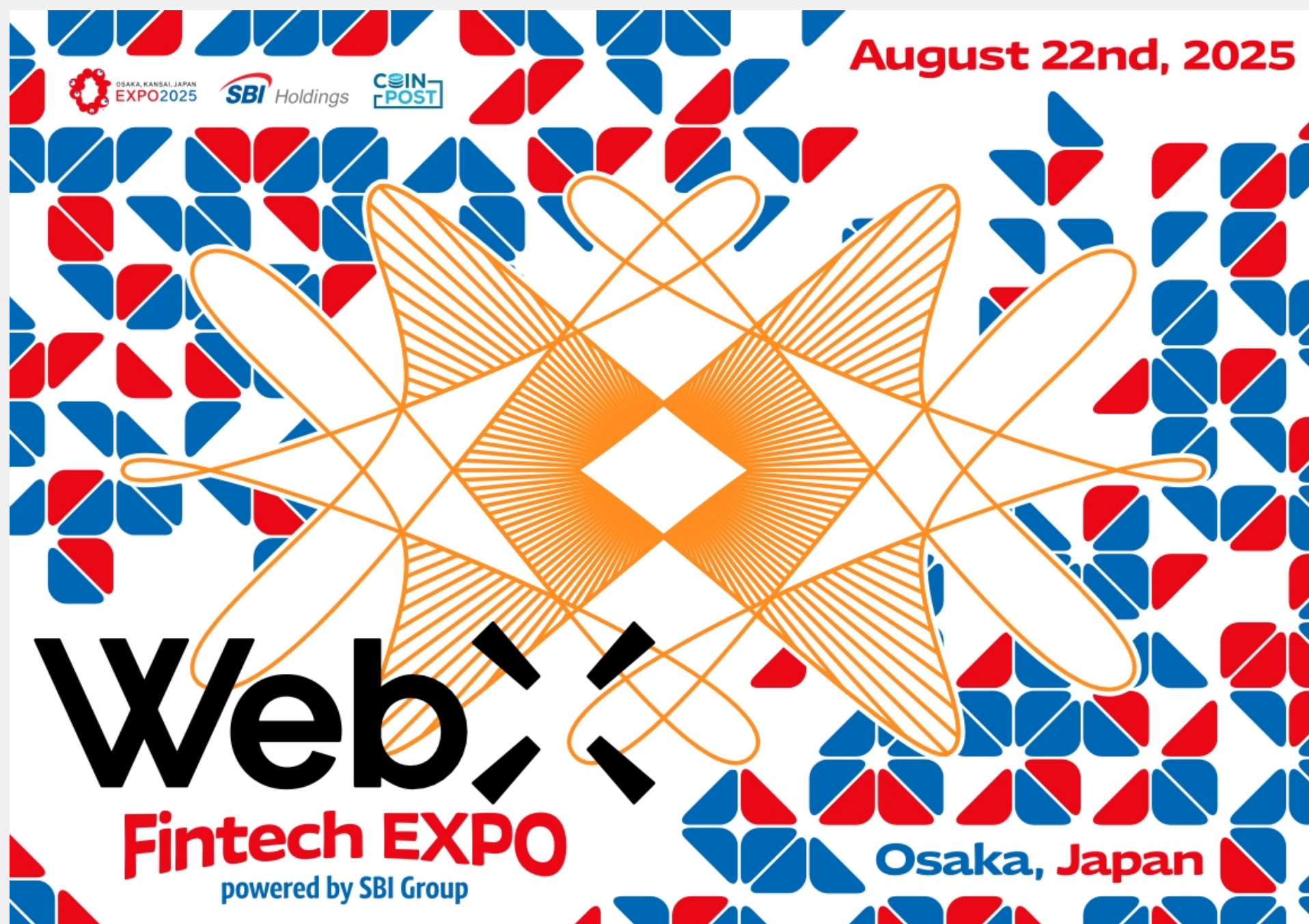
複数の指先を渡りながら一本の糸が模様を編み、形を変え、
また新たな可能性を生み出していくこの遊びを、
デジタルとアナログ、技術と文化、業界と業界が有機的につながり、
創造的にアップデートされていくような、
WebXが目指すビジョンと姿勢に重ねています。

オレンジ色のワイヤーフレームは、人の手によって紡がれる“あやとり”の動きを表現。

青い幾何学パターンは、デジタル領域の構造化されたロジックを想起させるもの。

ひとつのビジュアル内でこの両者が共存し交差する構図により、
「Connecting the Nodes（産業同士の接点をつくり）」
「Beyond the Screen（領域を超えてつながる）」
というWebXのキーメッセージを視覚的に体現しています。

キービジュアル 02 | WebX 2025 - Osaka



東京で生まれたWebXの思想を引き継ぎながら、
大阪万博が掲げるビジョン・コンセプトを再解釈した、
ダイナミックなキービジュアル

参加と共創により新たな循環が広がる
未来のあり方を表現しました

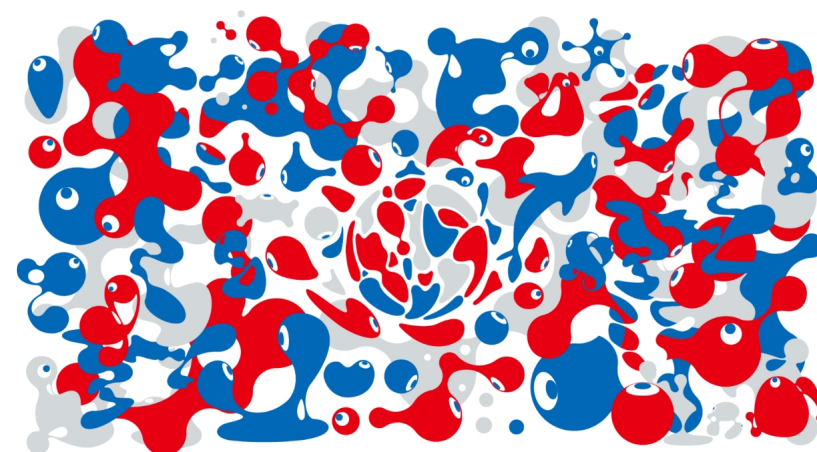
「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする大阪・関西万博の思想と、WebXが掲げる「産業・技術の交差による共創」のビジョンとを重ね合わせ、共通する価値観と構造を、配色とモチーフに落とし込んだ表現を行いました。

中央に描かれるオレンジのワイヤースケームは、日本文化に根ざす「あやとり」から着想を得たもの。人の手によって編まれる新たな模様、つまり、産業の共創・変容・未来の創出を象徴しています。

背景には、赤と青を基調とした幾何学パターンを展開。これは大阪万博のコアカラーを取り入れたもので、WebXのビジョンでも重視しているデジタルとアナログの融合、そして、参加と共創をうながすダイナミックさを要素として取り入れています。

「Connecting the Nodes, Beyond the Screen」というタグラインのもと、万博が描く創造的な未来をWebXの文脈で再構成し、分断ではなく“編み合わせる力”によるアップデートの重要性を表現しました。

Circulation of Lives
いのちの循環



モチーフに「あやとり」を採用した理由

あやとりは、
Web3の世界と現実社会との理想的な関係性を
視覚的に表現するメタファーであり、
デジタルとアナログの融合を象徴するモチーフになりうる。

あやとりは、指先から糸を掛け合い、
形を変えながら模様を生み出していく遊び。
その動きはまさに、
人と人、産業と産業がつながり、
新しい構造を紡いでいく、
WebXの姿勢を象徴しています。

また、「WebX」の“X”というかたち自体が、
糸が交差するあやとりの構造そのものとも呼応しており、
未来を編み出す場としてのWebXの役割を、
視覚的にも体現しています。

「WebX」と「あやとり」の共通点

WebXとあやとりの間にある“構造”や“意味”の共通点を、5つの視点から比較します。

WebX		あやとり
「X」 - 交差	構造的視点	「綾」 - 十文字
技術・文化・産業を かけあわせる イノベーションの可能性	創造的視点	形を変化させながら 新たな模様を編み出す
グローバルな広がり	文化的視点	世界各地で継承された遊び
様々な業種同士が繋がる ネットワークイメージ	デザイン視点	編まれた糸の 幾何学模様
デジタルとアナログの 手を取り合う関係性	関係性視点	人と人、手と手が 糸を取り合う動作

WebXが目指すべき未来とポジション

**WebXは「Web3とリアル社会をつなぐ場」として
技術や企業、産業のアップデートを担う
アジア最大規模のグローバルカンファレンス**

Web3を中心とする先端領域は、
これまで特定業界の中で完結しがちでした。

WebXは、
国内外の起業家・政府関係者・投資家・企業のみなさまとともに、
社会との接点を再設計し、業界を越えた関係性を促進します。

特に重視しているのは、
IT・Webのデジタル側から、アナログな現場・産業側へと、
価値を届けるために積極的に歩み寄る姿勢。
そして、その交差点となる機会や場をつくっていくこと。

単なる展示や商談の場ではなく、
技術と社会が手を取り合う、
連携と共創の新しいかたちを目指します。

WebX コンセプトコピー(案)

**Connecting the Nodes,
Beyond the Screen**

**キーワードは「接続」と「越境」
デジタルの革新を、社会と結び直すために。**

WebXが見据えるのは、デジタルの革新を、
既存の産業や社会の現場とどう結びつけるか。

技術を磨くだけでは、未来は動かない。

IT・Webの枠を越えて歩み出し、
視点と領域を横断しながら、
共創の起点となる対話の場をつくっていく。

その姿勢の根底にあるのは、
技術を手段に、社会に変化をもたらすための意志。

WebXは、業界の境界をひらき、
未来に向けた接続点（ノード）を築いていきます。

“Connecting the Nodes, Beyond the Screen”
——これはWebXが描く、社会への約束そのもの。